

平成19年度大阪中学生サッカー大会要項

- 1.趣 旨 大阪中学生(U-15)のサッカー大会を行うことで、中学校のクラブ活動、地域クラブを育成し、サッカーを通じて心身ともに健全な人間形成をはかると共に、参加チームの相互研さんにより、技術の高揚と普及を目的とする。
- 2.参加資格 日本サッカー協会に第3種加盟登録を行なったサッカーチームであること。
(大会により選手の参加条件が異なる場合がある)
(日本協会の認めた合同チーム)
1チームは代表者、監督、引卒責任者(2名)、選手12~25名以内で構成し参加申込みを行なったチーム。
- 3.参加費 各大会により異なるので一覧表を参照
- 4.参加申込 //
- 5.締 切 日 //
- 6.代表者会議並抽選会 //
- 7.表 彰 //
- 8.そ の 他 1位~3位まで表彰する。
負傷者については応急処置の他、責任を持たない。
参加チームは必ず(財)スポーツ安全協会傷害保険に加入すること。
参加者は親権者の参加承諾を得ること。(但しチーム保管する)
大会運営は参加チームの監督・責任者によって役員構成をする。
(総務・会計・競技役員・審判・会場)
抽選会当日の参加申込みはいっさい受付しない。総会、抽選会には監督又は、責任者が出席すること。(選手、保護者は認めません)
知事杯の大会期間中、警報発令された時点で試合を中止し、再開不可能な場合は順延とする。また、モルテン杯U-13大会・JFAプレミアカップやミカサU-14リーグの期間中の異常気象の際は、会場責任者に判断をゆだねる。
その後の日程については各チームが責任を持って事務局に問い合わせること。
参加チームは4級以上でなおかつゲームをコントロール出来る経験を持つ審判を登録、帯同しなければ出場できない。
詳細については下記まで問い合わせること。

大阪中学生選抜サッカー2年大会	吉澤秀樹
知事杯中学生サッカー大会	中北吉保
モルテンU-15リーグ	柏木義彦
大阪中学生選抜サッカー3年大会	吉澤秀樹
モルテン杯U-13大会・JFAプレミアカップ	飯田 聡
ミカサU-14リーグ	梶田孝史
大阪招待中学生サッカー大会	ホームページにてお知らせします。

(巻末の委員担当表及び一覧表を参照のこと。)

なお、(社)大阪府サッカー協会第3種委員会のホームページにて、随時、情報更新が行われますので、常に参照していただきますようお願いいたします。

<http://www.osakafa-3.com/>

平成19年度 大阪中学生（第三種）サッカー大会競技規定

1.大会要項に伴う参加資格

各大会ごとに主旨・資格・申し込みなど、「大会要項」に記されている。それらに従い大会に参加するものであるが、参加資格に疑義がある場合は、大会期間中でも、未登録・未エントリー・二重登録など大会要項に違反する不正選手が発見された時は、その時点で当該チームは失格となり、相手チームの勝とする。ただし、この事柄は既に終了したゲームまで逆上って適用されないが、次のゲームまでに不正が発見された時は棄権とし、その後の処置については、(社)大阪府サッカー協会第三種規律委員会（以下、規律委員会という）の裁定に従う。

2.大会方式

- (1)「大阪中学生サッカー選抜大会(2年)」においては府下8地域選出の計8チームによるリーグ戦を行ない、大阪府トレーニングセンター候補を選抜する。
- (2)「日本クラブユース・サッカー選手権(U-15)大阪府予選」においては、クラブユース(U-15)連盟に加盟チームによる参加。(シード有)
16ブロックによる1次予選リーグのあと8ブロックに分け2次予選リーグを行い、上位2チームにより決勝トーナメントを行う。上位チームは関西大会へ。
- (3)「大阪クラブユース・サッカーリーグ(U-15)」においては、1部・2部2ブロック・3部4ブロック・4部(チーム数による)制とし、各々総当りのリーグ方式とする。
- (4)「高円杯全日本」・Y・サッカー選手権大会大阪府予選」においては、オープン参加のリーグ戦方式の後、決勝トーナメントとする。上位チームは関西大会へ。
- (5)「大阪中学生選抜サッカー3年大会」においては、府下8地域を2グループにわけ予選リーグを行う。その成績に従い上位チームは、他府県招待大会へ推薦。
- (6)「ミカサ杯大阪U-14リーグ」は、チャンピオンシップを求める大会ではなく、育成主題とし、リザーブの選手にも出場のチャンスを与えることを目的とする。1部2ブロック・2部4ブロック・3部8ブロック・4部(チーム数による)制とし、6チームのグループを作り、各々総当りのリーグ方式とする。
- (7)「モルテン杯大阪U-13サッカー大会」4チームの予選リーグを経たあと、再び4チームの二次リーグを行ない、各リーグ1位のチームによる決勝トーナメント(JFAプレミアカップ)を行なう。
- (8)トーナメント規定
 - 1.規定の競技時間が終了しても勝敗が決しない場合は、PK方式による。決勝では5分-5分の延長を行い、なお決しない場合は、PK方式による。
 - 2.対戦相手チームが棄権した場合は、不戦勝となる。
- (9)リーグ規定(勝点方式)
 - 1.勝ち3点:引き分け1点:負け0点とし、勝ち点のチームを上位とする。
 - 2.全試合のゴールディファレンス(得点-失点)により、差が大きいチームを上位チームとする。
 - 3.総得点の多いチームを上位とする。
 - 4.該当チームとの対戦成績により、勝者を上位とする。
 - 5.以上1~5により順位が決定しない場合には、第三者により抽選で決定する。
 - 6.対戦相手チームが棄権した場合は不戦勝となり、棄権チームの他のリーグ対戦もすべて無効とする。

3. 競技規則

日本サッカー協会刊行、「サッカー競技規則と審判への指針」2007 / 2008年版による。

4. 競技方法

- (1) 試合球は、天然皮革及び人工皮革の材質で、日本サッカー協会検定球の5号ボールとする。
- (2) 試合時間は、60分間とする。(但し、1・2年生大会でダブルゲームは、25分ハーフとする)(その後は、前項2.大会方式(8)の1を参照のこと。)
- (3) 交代に関しては、競技開始時に登録した最大9名の交替要員の中から自由な交代が認められ、一度退いた競技者も再び出場できる。
*ただし、交代の手続きは従来通りサッカー競技規則第3条に則って行う。
- (4) 試合開始時刻30分前までに、監督はメンバー表及びその選手全員の日本協会個人登録証を本部に提出する。なお、個人登録証の無い選手は出場できない。
(1・2年生大会は、チーム登録でよい。)
- (5) 試合開始時刻5分前までに、出場選手は準備を終え用具の点検を受ける。
- (6) 試合開始時刻に出場選手が11名に満たない場合、あるいは監督(その代理者)不在の場合は、試合を放棄したものであり棄権とする。
なお、棄権したチームの事後の処理については、規律委員会の裁定による。
- (7) ユニフォームは、各チーム必ず全2色用意し、背番号・胸番号は登録と同一のものとしショーツの番号については付ける事が望ましい。ゴールキーパーにおいても同様。
特に、ユニフォーム(シャツ)が縞のデザインについては、台布に番号を張付ける。
- (8) ベンチは、出場選手・交代要員・監督・コーチ・トレーナー等を含め30名以内とする。(必要ならば更に1名の通訳を加える。)
- (9) フィールドでのウォームアップは25名以内とする。(大会、会場の条件によりことなる。)

5. 懲戒罰

警告回数は累積され、その選手が2回目の場合は、次の1試合を出場停止とする。また、退場を命ぜられた選手およびチーム関係者は次の1試合を出場停止処分とし、その試合以後の試合出場については規律委員会が審判報告書に基づき審議し決定する。

なお、本頁は前2.大会方式(2)・(3)・(4)・(6)・(7)大会にて施行する。

また、類積数は関西大会へは継続しない。

6. 帯同審判

主審は、正規のレフリースーツを着用しゲームコントロールすることは言うまでもないが、担当した試合において、警告及び退場を出した際、そのチーム名、選手名、時間や内容、その他不都合な事項を含め全て文書にて報告する義務がある。従って、義務の怠りや、割当てられた試合の審判をしないことがあれば、審判員が所属する当該チームについてその後残り試合の出場資格を失うことを最大とした処分が有る。

7. その他

- (1) 指導者は、試合会場内の選手の行動すべてに責任を持つこと。また会場には選手は指導者と共に入場すること。(早朝より選手だけで会場内には入場させない)
- (2) ゲーム責任者は、各チームからの書類の受理返却に責任を持つこと。